

1. 件名：新規基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（806））
2. 日時：平成30年3月27日 10時00分～20時30分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

川崎安全管理調査官、義崎管理官補佐、吉村上席安全審査官、津金主任安全審査官、正岡主任安全審査官、村上主任安全審査官、高木安全審査官、田尻安全審査官、照井安全審査官、日南川安全審査官、関根技術研究調査官、千明技術研究調査官、竹内技術参与、堀野技術参与、山浦技術参与、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 室長代理 他55名

東北電力株式会社：原子力部（原子力業務） 副長 他6名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 設備計画グループ 副長 他5名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 主任 他3名

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保修部 保修計画課 主任 他2名

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力設備） 担当 他5名

電源開発株式会社：原子力技術部 設備技術室 担当 他5名

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電から、3月22日及び本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る説明スケジュール、東海第二発電所の工事計画認可申請書のうち、燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書、強度計算書の基本方針、使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書等について説明があった。原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【全体スケジュール関係】

- 工事計画における機能の適合性を示すために必要な環境試験、性能試験等について、全てをリスト化して提示すること。

【燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書関係】

- 3種類の常設スプレイヘッドで使用済燃料プール全体を均一にスプレイできることを説明すること。また、3種類の常設スプレイヘッドからのスプレイ水が干渉するかどうか説明すること。
- プールゲートの耐震性とスロッシングに対する耐力を説明すること。
- プール内保管物の重量や保管状態等を整理して、耐震説明書等関係する資料へ展開すること。
- スリング等のつり具を用いる場合のつり具の管理方法について説明すること。

【強度計算書の基本方針関係】

- 強度評価について、既工認の評価結果が使える理由を整理して提示すること。特に既工認の評価における地震荷重は、当時の地震動によるもので、基準地震動 S_s による地震荷重とは異なるが、考え方を整理して提示すること。
- ASME の配管の応力係数が 1.0 から 0.5 に変わった理由を確認して提示すること。

【使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書関係】

- 使用済燃料プール水位計は、「浮力式」と「フロート式」の二種類を設置している目的及び各設定値について、整理して提示すること。
- 使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置にある「冷却器、除湿器」について、構造を示し、原理と性能を整理して提示すること。

【安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書関係】（重大事故等対処設備の事故後 8 日以降の放射線に対する評価について）

- 8 日以降の放射線に対する評価について、代表事故シーケンスの選定の考え方を整理して提示すること。また、放射線量グラフへ数値等を追記した上で対象設備の耐性について説明すること。
- 「評価対象設備の選定フロー」と「事故後 8 日以降に期待する機能の整理表」の関係について、整理して提示すること。

【原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書関係】

- フィルタベント系統において、溶接構造でないフランジ部からの水素漏えいがないことを説明すること。
- 試験装置と実機とのスケール効果を踏まえた上で、動荷重、フィルタの除去効率等について説明すること。

(2) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書
- ・工事計画に係る補足説明資料 補足-180-1【燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書に係る補足説明資料】
- ・燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書
- ・工事計画に係る補足説明資料 補足-180-2【燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書に係る補足説明資料】
- ・使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書

- ・ 工事計画に係る補足説明資料 補足-180-3【使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書に係る補足説明資料】
- ・ 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 補足-180-4【使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書に係る補足説明資料】
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 強度に関する説明書のうち補足-421-6【重大事故等クラス2機器であってクラス1機器の強度評価の方針について】
- ・ 東海第二発電所 工認ヒアリング 年間説明スケジュール表（案）
- ・ 非常用発電装置の出力の決定に関する説明書
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）
- ・ 常用電源設備の健全性に関する説明書
- ・ 三相短絡要領計算書
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 その他発電用原子炉の附属施設（常用電源設備）
- ・ 取水口及び放水口に関する説明書
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 V-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書のうち補足-270-4【ベント実施に伴う作業等の作業員の被ばく評価について】
- ・ 東海第二発電所 工事計画認可申請に係る論点整理について
- ・ 共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について